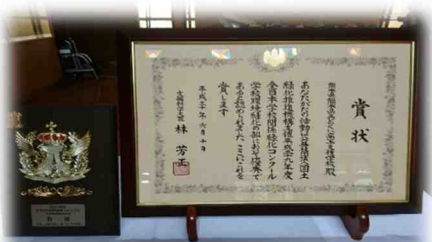


「環境は人をつくり 人が環境をつくる」本校の環境（緑化）教育の取組



平成29年度
全日本学校緑化コンクール学校環境緑化の部
特選（文部科学大臣賞）受賞

熊本県立ひのくに高等支援学校

テーマ「環境は人をつくり 人が環境をつくる」
～環境を整えることからの学び その環境に身をおく中での学び～

目的

- (ア) 明るい、整然とした学校環境の中で、生徒の豊かな心情や豊かな感性を育む
- (イ) 勤労の尊さを知り、愛校心をはじめとし地域を愛する心の醸成
- (ウ) 美化、緑化活動や整理整頓の習慣の定着
- (エ) 地域に根ざした学校づくり
- (オ) 身近な環境問題とその問題解決に向けての興味・関心の高揚
- (カ) 環境問題の解決に必要な判断力と主体的な行動ができる能力や態度の育成

主な取組内容

①地域花いっぱい&クリーン大作戦

地域奉仕活動として、本校園芸科が生産した花苗を使ったプランターを製作して配付する「地域花いっぱい運動」を開校から実施しています。また、地域の道路清掃活動を「クリーン大作戦」と称して実施し、道路清掃実施距離は延べ約10kmになります。



【配付施設にて記念写真】

②愛校タイム（生徒・職員・寄宿舍）

開校当時の環境美化活動として取り組まれているもので、毎月、全校生徒並びに全職員が校内（寄宿舍含む）の清掃活動（除草作業と落ち葉拾い、芝生管理）を行っています。

③ロード・クリーン・ボランティア（植栽帯の花壇づくり）

地域花いっぱい&クリーン大作戦の一環になる取組で、本校入り口両側の植栽帯（延べ約25m）の管理（草花の植え付け）を春と秋に実施しています。

④専門学科（園芸科）の授業

園芸科では野菜や草花などの植物の栽培や販売活動、校内外での諸活動をとおして日々の教育活動（緑化活動）に取り組んでいます。

【 ↓ 代表者植樹】



表彰式

第69回 全国植樹祭 ふくしま2018
会場：福島県南相馬市原町区雫地内
海岸防災林整備地

平成30年6月9日（土）・10日（日）

表彰は標記会場にて、天皇皇后両陛下の拝謁の中に執り行われました。前日のレセプションでは、記念式典で表彰を受ける代表者一人ひとりが天皇皇后両陛下と御歓談する時間が設けられて

おり、本校に対して「栽培している花の種類」や「一般就労につながる生徒数」などをお尋ねになると同時に、今後も「生徒の社会自立と職業自立を目指して欲しい。今回の表彰を受けて、活動の継続を含めて生徒の活躍を期待しています。」とのお言葉を頂きました。

植樹祭

植樹祭は、「ふくしまから発信する森林（もり）づくり」を大会コンセプトとして、会場の海岸防災林整備地（4.6ha）に参加者全員が植樹することから始まり、各区分に割り振られた会場に植樹（表彰者関係はクロマツの苗）を行いました。式典は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成で、会場となった福島県全体での歓迎ムードのなかで執り行われました。天皇皇后両陛下が樹木苗を植樹される「お手植え」と樹木種子をまかれる「お手まき」をはじめとして、来賓各位による代表者植樹が行われました。会場運営では地元高校生による式典アシスタントをはじめ会場装花や式典音楽隊、各種アトラクションなど次世代を担う若者のエネルギーを感じる活躍に心惹かれるものがありました。



【高校生の大会テーマ表現アトラクション】

表敬訪問

今回の受賞に伴い中山龍也校長と生徒を代表して生徒会長の本田敬介さんと副会長の下村萌望さんが荒木義行合志市長と宮尾千加子熊本県教育委員長を表敬訪問しました。開校当初より本校の教育活動に対して御理解と御協力を頂いている荒木合志市長からは、「花いっぱい活動でのプランター配付」へのお礼をはじめ受賞に対してのお褒めの言葉をいただきました。加えて、福祉事業展開や雇用増加につながる諸案についてのお話もいただきました。



【荒木義行合志市長との受賞記念写真】

【宮尾千加子教育委員長との受賞記念写真】



宮尾教育委員長の表敬訪問では、中山校長より受賞に伴う取組の説明をはじめとして表彰式に関連する植樹祭の報告をおこない、続けて本田さん、下村さんから受賞並びに環境緑化活動に対する思いなどを報告しました。

教育長からは「おめでとうの言葉と同時に自分自身も同様にうれしくおもいます。人を、周囲を幸せにする取り組みを先輩方から引き継ぎ、これまで活動していることが本当に素晴らしい。この活動と共に今回の受賞を生徒全員の自信にして、就労などにつなげて欲しい。」とのお言葉を頂き、同席した生徒にとって感慨深いものになりました。

今回の受賞は、現在のひのくに高等支援学校の取り組みが表彰されたものではありません。開校当初の生徒、保護者、職員、地域の方々の思いが、脈々と受け継がれてきたものへの評価であると捉えています。今後もこれまでの活動を受け継ぎ、今できることを一所懸命に取り組み未来へ引き継いでいくことを真摯に取り組んでいきます。

環境緑化活動の詳細は今後の教育くまもとに掲載予定です。